



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル
コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 岡崎 成子

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 後藤 文孝

TEL 06-6350-1080

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	54,943	4.7	6,005	34.0	5,635	8.6	4,334	18.5
2025年3月期第1四半期	52,484	11.6	4,483	58.2	5,188	39.9	3,657	49.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,441百万円 (△81.7%) 2025年3月期第1四半期 7,873百万円 (135.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	81.29	—
2025年3月期第1四半期	67.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	209,271	143,625	68.6	2,697.84
2025年3月期	209,822	145,269	69.2	2,707.95

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 143,625百万円 2025年3月期 145,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	35.00	—	36.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,000	1.7	19,400	3.0	19,700	7.5	17,300	41.8	322.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	60,161,956株	2025年3月期	60,161,956株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	6,924,790株	2025年3月期	6,516,290株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	53,318,911株	2025年3月期1Q	54,259,570株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口(以下「信託口」という。)が保有する当社株式を含めております。また、信託口が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 研究開発活動	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結損益計算書に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高549億43百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益60億5百万円（前年同期比34.0%増）、経常利益56億35百万円（前年同期比8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億34百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	52,484	54,943	4.7%
営業利益	4,483	6,005	34.0%
経常利益	5,188	5,635	8.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,657	4,334	18.5%
米ドル平均為替レート（円）	148.63	152.55	2.6%
ユーロ平均為替レート（円）	161.33	160.55	△0.5%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	13,147	13,696	4.2%	—
タックラベル	2,325	1,929	△17.0%	—
ソフトパウチ	5,878	6,059	3.1%	—
機械	1,275	1,186	△6.9%	—
その他	3,850	3,564	△7.4%	—
売上高合計	26,477	26,436	△0.2%	—
営業利益	3,151	3,029	△3.9%	—
米州				
シュリンクラベル	13,132	14,029	6.8%	4.1%
タックラベル	652	662	1.5%	△1.1%
ソフトパウチ	7	46	493.3%	478.0%
機械	1,315	1,743	32.6%	29.2%
売上高合計	15,107	16,481	9.1%	6.3%
営業利益	1,161	2,200	89.5%	84.6%
欧州				
シュリンクラベル	4,513	4,948	9.6%	10.2%
タックラベル	1,547	1,906	23.2%	23.8%
機械	2,555	2,997	17.3%	17.9%
売上高合計	8,617	9,852	14.3%	14.9%
営業利益	365	906	147.9%	149.1%
アセアン				
シュリンクラベル	2,517	2,539	0.9%	△1.7%
タックラベル	37	8	△77.7%	△78.3%
ソフトパウチ	2,300	1,960	△14.8%	△16.9%
機械	205	83	△59.4%	△60.5%
その他	13	16	20.3%	17.2%
売上高合計	5,074	4,608	△9.2%	△11.5%
営業利益	241	326	35.1%	31.6%

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
売上高				
売上高	55,276	57,379	—	—
調整額	△2,792	△2,436	—	—
連結売上高	52,484	54,943	4.7%	3.7%
営業利益				
営業利益	4,920	6,463	—	—
調整額	△436	△457	—	—
連結営業利益	4,483	6,005	34.0%	32.6%

（日本）

シュリンクラベルは売上高136億96百万円（前年同期比4.2%増）、タックラベルは売上高19億29百万円（前年同期比17.0%減）、ソフトパウチは売上高60億59百万円（前年同期比3.1%増）、機械は売上高11億86百万円（前年同期比6.9%減）、その他は売上高35億64百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は264億36百万円（前年同期比0.2%減）、損益面は営業利益30億29百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高140億29百万円（前年同期比6.8%増、現地通貨ベース4.1%増）、タックラベルは売上高6億62百万円（前年同期比1.5%増、現地通貨ベース1.1%減）、ソフトパウチは売上高46百万円（前年同期比493.3%増、現地通貨ベース478.0%増）、機械は売上高17億43百万円（前年同期比32.6%増、現地通貨ベース29.2%増）となりました。

その結果、米州全体の売上高は164億81百万円（前年同期比9.1%増、現地通貨ベース6.3%増）、損益面は営業利益22億円（前年同期比89.5%増、現地通貨ベース84.6%増）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高49億48百万円（前年同期比9.6%増、現地通貨ベース10.2%増）、タックラベルは売上高19億6百万円（前年同期比23.2%増、現地通貨ベース23.8%増）、機械は売上高29億97百万円（前年同期比17.3%増、現地通貨ベース17.9%増）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は98億52百万円（前年同期比14.3%増、現地通貨ベース14.9%増）、損益面は営業利益9億6百万円（前年同期比147.9%増、現地通貨ベース149.1%増）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高25億39百万円（前年同期比0.9%増、現地通貨ベース1.7%減）、タックラベルは売上高8百万円（前年同期比77.7%減、現地通貨ベース78.3%減）、ソフトパウチは売上高19億60百万円（前年同期比14.8%減、現地通貨ベース16.9%減）、機械は売上高83百万円（前年同期比59.4%減、現地通貨ベース60.5%減）、その他は売上高16百万円（前年同期比20.3%増、現地通貨ベース17.2%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は46億8百万円（前年同期比9.2%減、現地通貨ベース11.5%減）、損益面は営業利益3億26百万円（前年同期比35.1%増、現地通貨ベース31.6%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,092億71百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億51百万円の減少となりました。

その主な要因は、現金及び預金が17億45百万円減少したこと、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が9億65百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は656億45百万円で、前連結会計年度末と比べ10億92百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が34億9百万円増加したこと、借入金が21億44百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,436億25百万円で、前連結会計年度末と比べ16億44百万円の減少となりました。これは、利益剰余金が22億79百万円増加したこと、自己株式の取得等により10億31百万円減少したこと、為替換算調整勘定が28億55百万円減少したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、77億12百万円の収入（前年同期は41億96百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益56億3百万円、減価償却費20億51百万円などの計上、仕入債務の増加額36億39百万円などによる収入、売上債権の増加額21億4百万円、棚卸資産の増加額11億87百万円、法人税等の支払額12億59百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億20百万円の支出（前年同期は31億97百万円の支出）となりました。これは、定期預金の払戻による収入11億48百万円、有形固定資産の取得による支出36億6百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、51億83百万円の支出（前連結会計年度は29億34百万円の支出）となりました。これは、借入金の減少20億円、自己株式の取得による支出10億77百万円、配当金の支払額20億55百万円などによるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億48百万円減少の282億3百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日付の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4億85百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,394	32,648
受取手形及び売掛金	52,849	52,911
電子記録債権	12,583	13,487
商品及び製品	11,184	11,536
仕掛品	6,699	6,829
原材料及び貯蔵品	9,739	9,772
その他	5,860	5,178
貸倒引当金	△236	△155
流動資産合計	133,075	132,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,365	25,363
機械装置及び運搬具（純額）	20,782	20,111
工具器具備品（純額）	2,400	2,517
土地	8,991	8,958
リース資産（純額）	288	288
建設仮勘定	5,328	7,089
その他（純額）	940	877
有形固定資産合計	65,097	65,207
無形固定資産		
のれん	871	852
その他	1,316	1,226
無形固定資産合計	2,187	2,078
投資その他の資産		
投資有価証券	3,530	3,487
繰延税金資産	2,499	2,958
その他	3,520	3,413
貸倒引当金	△88	△84
投資その他の資産合計	9,462	9,775
固定資産合計	76,747	77,061
資産合計	209,822	209,271

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,811	17,432
電子記録債務	11,565	13,352
短期借入金	6,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	751	722
リース債務	72	78
未払金	4,644	3,761
未払法人税等	1,801	2,195
賞与引当金	2,598	3,034
その他	12,976	12,913
流動負債合計	56,220	57,491
固定負債		
長期借入金	2,781	2,665
リース債務	135	132
繰延税金負債	1,284	1,217
退職給付に係る負債	2,751	2,781
その他	1,379	1,357
固定負債合計	8,332	8,154
負債合計	64,553	65,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,625	6,625
利益剰余金	119,188	121,468
自己株式	△11,230	△12,261
株主資本合計	120,574	121,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,006	972
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	23,423	20,567
退職給付に係る調整累計額	265	262
その他の包括利益累計額合計	24,695	21,802
純資産合計	145,269	143,625
負債純資産合計	209,822	209,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	52,484	54,943
売上原価	42,000	42,336
売上総利益	10,484	12,606
販売費及び一般管理費	※1 6,000	※1 6,600
営業利益	4,483	6,005
営業外収益		
受取利息	53	72
受取配当金	54	56
為替差益	638	—
その他	38	47
営業外収益合計	785	176
営業外費用		
支払利息	47	64
為替差損	—	459
休止固定資産減価償却費	28	20
その他	3	2
営業外費用合計	80	547
経常利益	5,188	5,635
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	43	9
組織再編費用	—	※2 24
特別損失合計	43	33
税金等調整前四半期純利益	5,151	5,603
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,786
法人税等調整額	△139	△517
法人税等合計	1,494	1,268
四半期純利益	3,657	4,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,657	4,334

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	3,657	4,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△33
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	4,217	△2,855
退職給付に係る調整額	85	△3
その他の包括利益合計	4,216	△2,892
四半期包括利益	7,873	1,441
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,873	1,441
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,151	5,603
減価償却費	2,176	2,051
のれん償却額	31	18
組織再編費用	—	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40	△72
賞与引当金の増減額 (△は減少)	498	471
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	26
固定資産除売却損益 (△は益)	37	8
受取利息及び受取配当金	△108	△128
支払利息	47	64
為替差損益 (△は益)	△376	223
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,419	△2,104
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,039	△1,187
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,563	3,639
未払金の増減額 (△は減少)	△365	△475
その他	717	761
小計	5,890	8,924
利息及び配当金の受取額	121	134
利息の支払額	△25	△87
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,789	△1,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,196	7,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△919	△256
定期預金の払戻による収入	—	1,148
有形固定資産の取得による支出	△1,834	△3,606
有形固定資産の売却による収入	55	33
無形固定資産の取得による支出	△32	△29
投資有価証券の取得による支出	△423	△5
貸付けによる支出	△42	△0
貸付金の回収による収入	2	2
その他	△3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,197	△2,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	△2,000
長期借入れによる収入	1,486	—
長期借入金の返済による支出	△12	—
自己株式の取得による支出	△0	△1,077
自己株式の売却による収入	53	46
配当金の支払額	△2,356	△2,055
その他	△104	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,934	△5,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	785	△657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,149	△848
現金及び現金同等物の期首残高	22,788	29,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 21,638	※1 28,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,905	15,106	7,261	4,211	52,484	—	52,484
セグメント間の内部 売上高又は振替高	571	1	1,355	863	2,792	△2,792	—
計	26,477	15,107	8,617	5,074	55,276	△2,792	52,484
セグメント利益	3,151	1,161	365	241	4,920	△436	4,483

(注) 1. セグメント利益の調整額△436百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,938	16,476	8,361	4,167	54,943	—	54,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	498	5	1,491	441	2,436	△2,436	—
計	26,436	16,481	9,852	4,608	57,379	△2,436	54,943
セグメント利益	3,029	2,200	906	326	6,463	△457	6,005

- (注) 1. セグメント利益の調整額△457百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。
 2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,077百万円（430,900株）増加いたしました。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は12,261百万円（6,924,790株）となりました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
給与手当	2,249百万円	2,426百万円
賞与引当金繰入額	333	413
貸倒引当金繰入額	△30	△71
退職給付費用	61	65

※2 組織再編費用

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

日本セグメントの再編に伴い発生した費用であります。その内訳は、製造移管に伴う発生費用24百万円であり
 ます。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金勘定	22,975百万円	32,648百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△965	△4,445
当座借越	△370	—
現金及び現金同等物	21,638	28,203

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年8月7日

株式会社フジシールインターナショナル

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

大阪事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上田博規

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古田尚美

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社フジシールインターナショナルの2025年4月1日から2026年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれておりません。